

メディカルネットワーク

<https://twmu-mce.jp>

発行 ● 東京女子医科大学東医療センター

〒116-8567 東京都荒川区西尾久 2-1-10 TEL.03-3810-1111 FAX.03-3894-0282

病院長あいさつ

内潟 安子



気持ち新たに令和元年を迎え、医療インフラが心配されたGW10連休もすでに過去となり、もう今年の半分が過ぎてしまいました。

皆様には、お変わりございませんでしょうか。

当院は今年で創設85周年を迎えました。皆様に育てていただいて85年。外来の掲示板には患者さんからいただいた投書とその対応策を掲示しておりますが、病院長には日々の病院運営の方向性を教示してくれる指針であります。様々なご意見や投書をいただくことで、大きく成長していくべき方向性を見つけることができます。

しかし、いただく声の数々は患者さんをご紹介いただいた先生方皆様の当院に対するお声でもあります。皆様の要望をたくさんいただいて、当院は、未曾有の高齢・少子化社会の医療に向かって、さらに進んで参ります。

ぜひ、今号も、診察室の先生方のおそば近くに置いていただければ幸甚に存じます。

東京女子医科大学東医療センター 85周年感謝祭のお知らせ

開院85周年を迎えるにあたり、住民の皆様への健康に貢献すべくゲノム医療から身近な疾患についての情報を発信する感謝祭を開催いたします。

日時: 令和元年10月26日(土) 13:30~17:00(予定)

会場: 東京女子医科大学東医療センター外来棟及び1号館

INDEX

外科 2

産婦人科 3

形成外科 4

皮膚科 5

脳神経外科 6

内科 7

麻酔科 8

耳鼻咽喉科 9

検査科 10

放射線科 11

地域連携室より
お知らせ 12

このたび、外科診療部長を拝命しました塩澤俊一です。

私は昭和63年5月より東京女子医科大学東医療センター(旧 附属第二病院)外科に勤務しており、今年で32年目を迎えました。

これまで当院近隣の諸先生方や患者さま方には、さまざまな診療の機会を通じて育てていただきました。今後ともよろしく願い申し上げます。



当科の消化器外科領域では主に以下の3つの診療グループが、それぞれ高い専門性をもって診断や治療にあたっています。その特徴は、外科でありながら手術治療のみならず内視鏡的治療、血管内治療、外来化学療法、緩和ケアまで、全人的治療の基本姿勢のもと当科の医療技術で地域の皆様に貢献したいという強い思いで支えられています。

1. 上部消化管グループ

- ・食道・胃静脈瘤：内視鏡的硬化療法 (EIS)
- ・早期食道がん：内視鏡的剥離術 (ESD)
- ・消化管狭窄症：ステント治療 (IVR)
- ・良性食道疾患の外科治療(裂孔ヘルニア, アカラシアなど)
- ・食道がん, 胃がん：外科治療 (腹腔鏡下手術; 40%以上)
- ・術前, 術後化学療法



2. 下部消化管グループ

- ・肛門疾患の診療と治療, 人工肛門(ストーマ)ケア専門外来
- ・早期大腸がん：内視鏡的剥離術 (ESD)
- ・大腸がん：外科治療 (腹腔鏡下手術; 80%以上)
- ・ロボット支援下手術 (7月以降に開始予定で準備中です)
- ・術前, 術後化学療法



3. 肝胆膵グループ

- ・膵胆道良性疾患：内視鏡治療(胆管切石, ステントなど)
- ・肝がん：血管内治療 (TACE)
- ・胆道良性疾患：外科治療 (腹腔鏡手術; 90%以上)
- ・肝胆膵領域の難治がん：高難度手術
- ・術前, 術後化学療法



4. その他の治療やご相談もお受けいたします。

- ・緊急手術(消化管穿孔, 絞扼性イレウスなどの急性腹症, ヘルニア嵌頓, 急性虫垂炎など)
- ・鼠径, 大腿ヘルニア：外科治療(鏡視下手術; 90%以上)
- ・小児の外科治療が必要な疾患(小児科, 本院小児外科とも連携します; ヘルニア, 陰嚢水腫など)
- ・術後の栄養維持(栄養指導)療法
- ・診断のつきにくい消化器疾患、など

併存症のある患者さまも、全診療科のご協力のもと診療にあたる所存です。

この度、産婦人科部長を拝命しました橋本和法(ハシモト カズノリ)です。



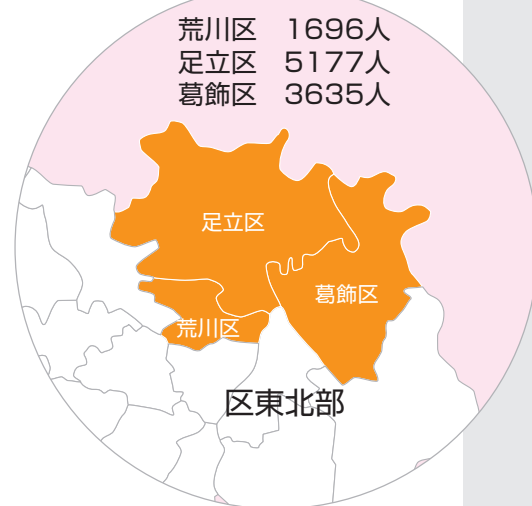
産婦人科は思春期、出産、更年期など女性の生涯を通じてヘルスケアを支援する診療科です。

1. 周産期診療

荒川、足立、葛飾の区東北部を中心に高度周産期医療機関として、NICUと協力しハイリスク妊娠(妊娠高血圧症候群、糖代謝異常、早産等)や救急医療(異常出血等)に対応しています。

出生数(2018年)

荒川区	1696人
足立区	5177人
葛飾区	3635人



2. 婦人科診療

婦人科がん、良性疾患診療、不妊診療、更年期診療など婦人科全般の診療を行います。腹腔鏡、ロボット支援手術などの低侵襲手術に対応します。ロボット支援手術は、子宮筋腫・子宮腺筋症などの疾患に対して行っております。



腹腔鏡手術



ロボット支援手術

この度、本院から東医療センターへ 八巻 隆 医師が配転となりました。

本院では、下肢静脈疾患を中心に、専門性の高い診療を行ってきました。

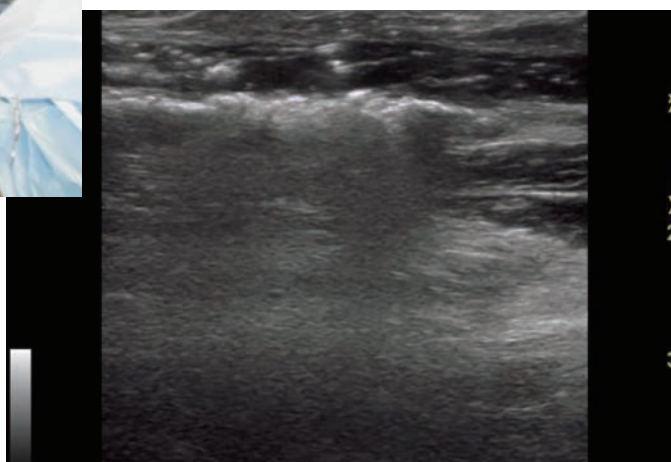
- ① 下肢静脈瘤…無侵襲診断および血管内焼灼術による治療を中心に診療を行っています。
- ② 深部静脈血栓症…無侵襲診断および新規経口抗凝固薬による治療を行っています。本院では、静脈血栓塞栓症の診断・治療および予防マニュアルの院内作成に携わっていました。
- ③ 血管奇形…静脈奇形を中心に診療を行っています。

静脈疾患が疑われる場合は、お気軽にご相談ください。

八巻医師の診察日は、月・火・水・金 午前中です。

当科への初診は、ご予約は必要ありません。

ご紹介状をご持参いただき、午前11時までに初診受付にて受け付け下さい



乾癬外来

担当医 ^{うめがき}梅垣 ^{のりこ}知子

乾癬に対する、新しい治療法がたくさん登場してきました。
皮膚や関節の辛い症状を、改善することができます！

乾癬とは:皮膚から少し盛り上がった赤い発疹の上に、銀白色のフケのような垢が付着し、ポロポロとはがれ落ちる症状を特徴とします。爪の変形や、関節炎を伴うことがあります。

症状がひどくなると、QOLを著しく損なうため、適切な治療が必要です。

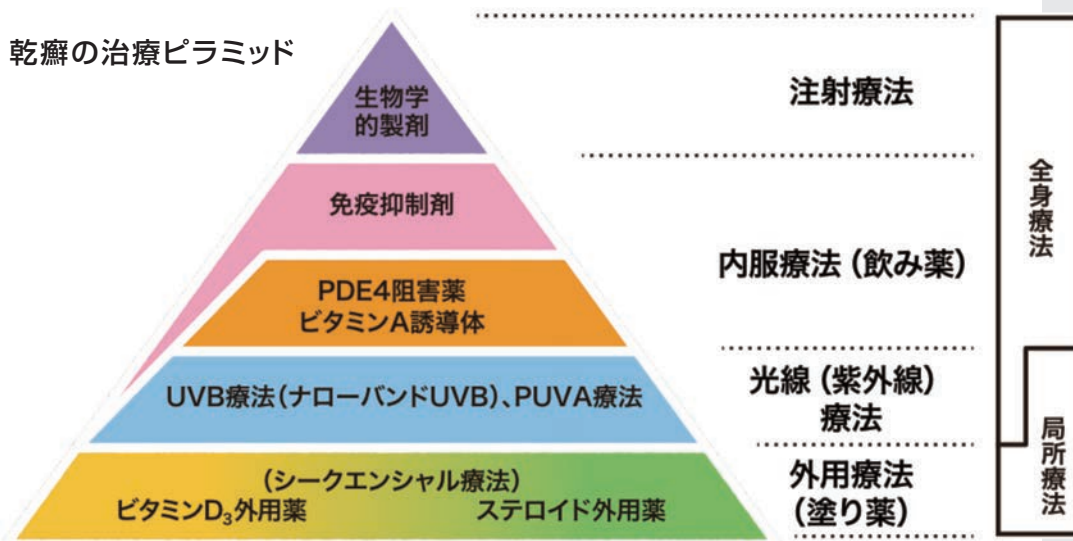
皮膚の紅斑と鱗屑



爪の変形



外用剤、飲み薬、注射など、患者さんの症状や
ライフスタイルなどに応じた治療を選択して行います。



飯塚一: J Visual Dermatol 16(9), 850-851, 2017より改変

脳神経外科 専門・特殊外来

当科の専門・特殊外来を紹介します。それぞれの専門チームが対応いたします。
下記の外来の曜日に合わせてご紹介くださいますとスムーズにご案内できます。

	月	火	水	木	金	土
午前	<ul style="list-style-type: none"> しびれ・いたみ 手根管症候群 	<ul style="list-style-type: none"> もの忘れ 頸動脈 	<ul style="list-style-type: none"> 脊髄外科 	<ul style="list-style-type: none"> しびれ・いたみ 手根管症候群 	<ul style="list-style-type: none"> もの忘れ 	<ul style="list-style-type: none"> 脳ドック 脊髄外科
午後	<ul style="list-style-type: none"> 三叉神経痛 脳動脈瘤 頸動脈 		<ul style="list-style-type: none"> 三叉神経痛 髄膜腫 間脳下垂体 	<ul style="list-style-type: none"> しびれ・いたみ 手根管症候群 	<ul style="list-style-type: none"> 三叉神経痛 顔面けいれん 	

三叉神経痛外来

担当 糟谷 英俊教授、谷 茂

的確な診断のもと、内服、手術治療、温熱凝固療法などの選択肢があります。



脳動脈瘤外来

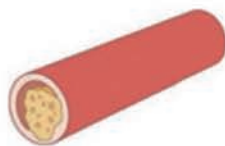
担当 糟谷 英俊教授

偶然指摘された脳動脈瘤に対し、科学的根拠に基づき経過観察あるいは治療（血管内・開頭）を勧めます。

頸動脈外来

担当 大淵 英徳 新井 直幸

頸動脈狭窄（脳梗塞の原因）に対して積極的な加療を行っています。カテーテル治療、手術、薬物療法など、患者様に適した治療をご提供いたします。



間脳下垂体外来

担当 谷 茂

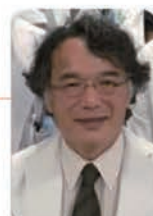
下垂体腺腫には従来の顕微鏡手術に加え、内視鏡を併用した手術を取り入れ、侵襲の少ない手術へ取り組んでいます。

- 外来の受付は午前 11 時までです。
 - 電話でのお問い合わせは 14:00-16:00 の間にお願致します。
 - 頭部外傷や脳卒中が疑われる、緊急の患者様のご紹介は「24時間365日」断らずに対応いたします。
- ※夜間は緊急手術などで対応できない場合もあります。ご了承下さい。

髄膜腫外来

担当 糟谷 英俊教授

豊富な経験をもとに、経過観察を含め最適な治療法を提示します。手術には、術中ナビゲーション・モニタリング、超音波乳化吸引装置等を用いて、合併症なく最大限の摘出を目指します。専門病理医による診断、γナイフ治療施設とも提携しています。



いたみ・しびれ 脊髄外科外来

担当 平澤 元浩 広田 健吾



原因の分からない手足のしびれや痛み、なかなか良くならない腰痛などを丁寧に診察します。

※毎週月曜日午前および第 1,3,5 週の木曜日

もの忘れ外来

担当 笹原 篤

担当リハビリ（言語聴覚士）による詳細な認知機能検査と、必要に応じ画像検査や髄液検査なども加え、質の高い認知症の加療を目指しています。



詳細はHPを御覧ください

<http://twmu-mcens.jp/>

メールで受診の
予約ができます



当科の専門外来の特色を紹介します。

下記の午前中の外来に合わせてご紹介くださいますとスムーズにご案内できます。

午前	月	火	水	木	金	土
新患	○	○	○	○	○	○
糖尿病	○	○	○	○		○
循環器	○	○	○	○	○	○
脳神経	○		○	○	○	
消化器	○	○	○	○	○	○
腎臓		○			○	○
血液		○	○	○		○
膠原病	○	○		○		
心療内科	○	○			○	



糖尿病：合併症・併発疾患がある、インスリン導入が必要、連続血糖測定（CGM）を希望、当院で手術の予定、病態が複雑、教育入院を希望、また低血糖の鑑別・治療、内分泌疾患、代謝疾患全般もお引き受けいたします。

心療内科：頭痛、過敏性腸症候群、高血圧、糖尿病などの心身症（身体疾患で発症や経過にストレスが関与するもの）、摂食障害などの診療を、内科医師が身体・心理・行動面から行っています。うつ病やパニック障害などは必要に応じて精神科と連携をとりながら診察を行っています。



腎臓：血尿、蛋白尿精査のための腎生検と治療、急性腎障害の精査・加療、慢性腎不全の治療方針決定、血液透析、腹膜透析の導入、血漿交換、免疫吸着療法などの特殊透析治療など腎疾患を総合的に診療いたします。

脳神経：めまい、しびれ、ふるえ、物忘れといった高齢者で多くみられる症状について診療を行っています。丁寧な診察、診断で適切な治療を心がけています。



膠原病：リウマチ性疾患の治療はチーム医療が大切です。当院では内科・整形外科・薬剤部・リハビリテーション部がタッグを組み年に1回リウマチ教室を開催しています。患者教育やリハビリ施設の拡大など、地域のリウマチ治療の中核となる施設を目標に、メッセージを発信しています。



循環器：胸痛、動悸、息切れ、立ちくらみ、失神の精査・加療を行います。心臓血管診療部、心臓血管外科と協力して特に急性期の治療に力を入れています。

血液：貧血は血液検査で原因の特定に努め、不明な際には骨髄検査を実施します。多血症、血小板血症、白血球増加症など慢性の血球増加症では血液検査、遺伝子検査、骨髄検査を実施し診断しています。リンパ節腫脹は必要に応じ他科に依頼して組織検査で診断を確定しています。診断確定後、個々の症例に適した必要な治療を検討しています。



消化器：消化器内科は胃腸や肝臓、膵臓などの病気を専門としています。胃や大腸の内視鏡検査を積極的に行っており、C型肝炎などウイルス肝炎についても最新の治療を外来通院にてうけることができます。

ペインクリニック外来

担当: 川真田美和子、椋棒由紀子、平久美子、森哲、小高光晴、安藤一義、小森万希子

通常の治療では十分な改善が得られない、長引く痛みの治療に特化した外来です。詳細なカウンセリングから始め、薬物療法、理学療法、神経ブロックなど、必要に応じて、個々の患者さんにとって最善と思われるものを提案しています。

帯状疱疹の痛み、基礎疾患のある方の痛み（癌、脳血管障害、腎透析、糖尿病、膠原病など）、術後痛、顔や喉の複雑な痛みなど、主治医の先生や、他科との連携を計りながら、患者さんと二人三脚で、QOLの向上を目指します。

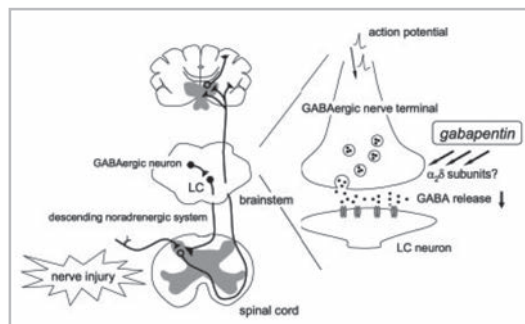


← Face Scaleが8以上、治療にもかかわらず6以上の患者さんは、ご紹介ください。

ミニ知識

慢性疼痛には、局所の要因に加えて、中枢性の複雑な機序が関与することが、近年明らかにされています。

特に神経障害性疼痛は、早期の治療介入により、病悩期間が短縮できる可能性があります。



Tanabe et al. 2008

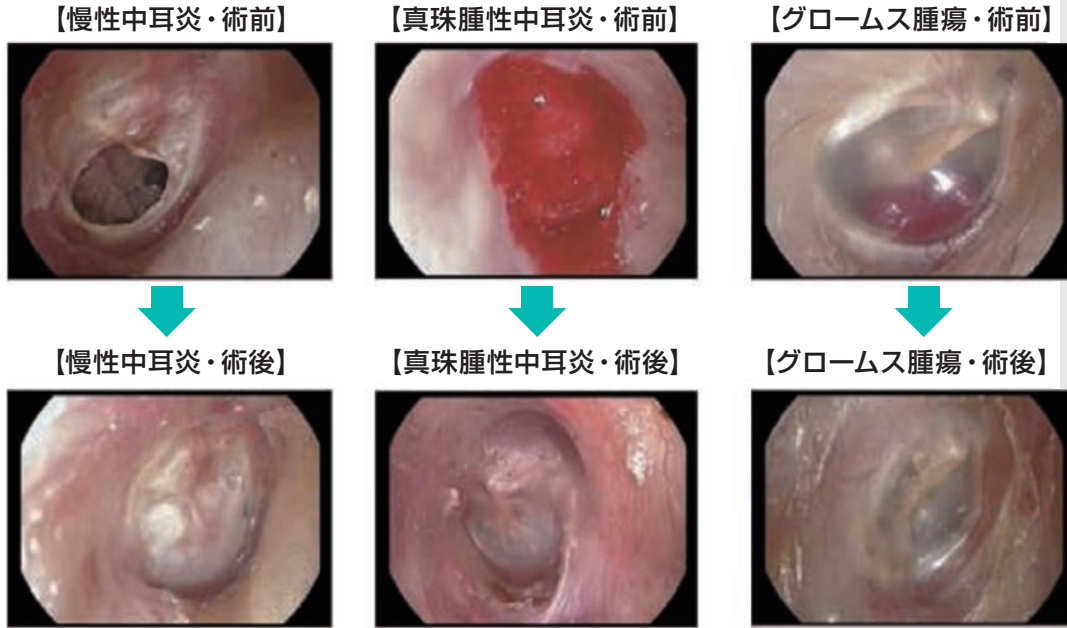
ペインクリニック環境医学外来

担当: 平久美子

環境化学物質（殺虫剤、有機溶剤、室内汚染物質など）の曝露に伴う諸症状、サリン中毒後遺症、化学物質過敏症、シックハウス症候群に伴う痛みの診療を行っています。

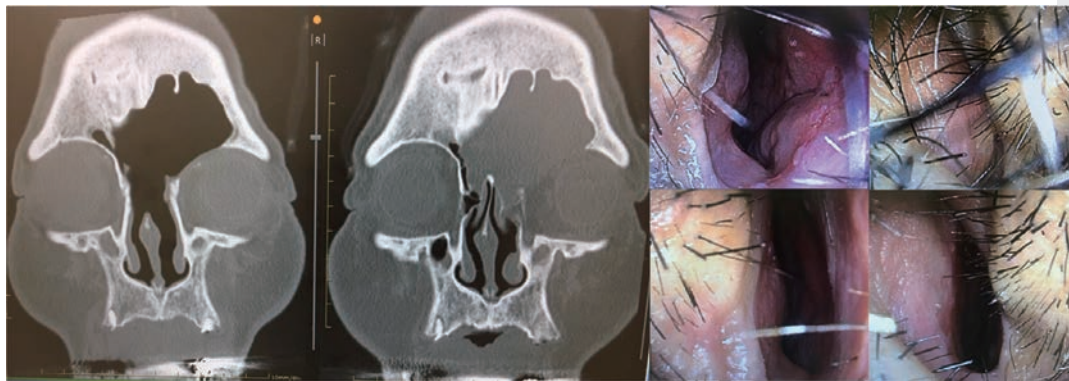
	月	火	水	木	金	土
午前		環境医学外来 (第4火曜)				環境医学外来 (奇数月第2土曜)
午後	ペイン クリニック		ペイン クリニック			

難聴、耳漏でお困りの方を是非ご紹介ください



新設専門外来: 鼻外来(火曜午前午後)

- 鼻閉、鼻汁、嗅覚障害など鼻症状でお困りの方を是非ご紹介ください。
- 慢性副鼻腔炎、鼻閉改善手術、副鼻腔腫瘍、重症アレルギー性鼻炎への手術加療を得意としております。
- 積極的に局所麻酔、全身麻酔ともに短期滞在での手術を行っております。
- 前頭洞嚢胞や再発を反復する好酸球性副鼻腔炎には、拡大前頭洞手術(Draf type 3)を行っております。
- 外傷例など前弯が強い症例に対しては、HemiTransfixion Approachも行っております。
- 外鼻変形を伴う症例に対しては形成外科と合同で外鼻形成も行っております。
- 重症アレルギー性鼻炎に対しては、選択的後鼻神経切断術を行っております。



	月	火(手術日)	水(手術日)	木(手術日)	金	土
午前	一般外来	一般外来 鼻副鼻腔・嗅覚外来	一般外来	一般外来	一般外来	再診
午後	中耳・側頭骨・難聴	扁桃性感染症	補聴器		中耳・側頭骨・難聴	

中耳・側頭骨・難聴
須納瀬 弘 教授
小泉 弘樹 助教
門脇 誠一 助教

扁桃・性感染症
余田 敬子 准教授
谷野 絵美 助教

鼻副鼻腔・嗅覚
中上 桂吾 助教
貞安 令 助教

担当医の詳細は
東医療センターホームページ→診療部門紹介
→耳鼻咽喉科をご参照ください。

電話でのお問い合わせは、出来ましたら14:00-16:00の間にお問い合わせください。ご予約は耳鼻咽喉科で承っております。
※外来・急患対応の状況等により、対応できない場合(とくに手術日)もございます。ご了承ください。

消化管内視鏡検査および治療のための診察は、地域連携室から予約できます。

◎上部・下部消化管内視鏡検査は、地域連携室から直接日程の予約ができます。
 ⇒(03-3810-1112 内線3121)

- 上部消化管内視鏡検査の場合、検査前日の夕食は軽めに、当日は絶食でいらして頂くようご指示ください。
- 下部消化管内視鏡検査の場合、可能であれば腸管前処置薬の処方をして頂き、腸管をきれいな状態で午後の予約検査に来ていただくようご指示ください。
 (腸管前処置の方法は、東医療センターホームページ⇒地域医療関係者の方へ▶検査科(内視鏡・カプセル内視鏡)⇒右下▶検査の流れ 参照)
- 腸管前処置が困難な場合は、検査科診察予約で承ります。
- 消化器疾患でお困りの事があれば何なりとご相談ください。

◎大腸腫瘍(早期大腸癌も)、胃・食道腫瘍の内視鏡治療およびカプセル内視鏡検査(小腸・大腸)のための診察も、地域連携室から予約できます。

- 当院では、内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(大腸ESD)を積極的に行っており、2018年5月現在までに約900例施行しております。穿孔による手術例は皆無であり、早期大腸癌の治癒率は、99.7%と良好な成績を上げておりますので、是非ご紹介頂けますようお願いいたします。
- 2019年3月より、消化管内視鏡治療専門の佐藤浩一郎医師を准教授に迎え、胃・食道腫瘍のESDも当科での施行が可能となりましたので、是非ご紹介ください。
- 大腸カプセル内視鏡検査は、大腸疾患が疑われるが、内視鏡検査が癒着等で実施困難な患者さんが適応となっています。



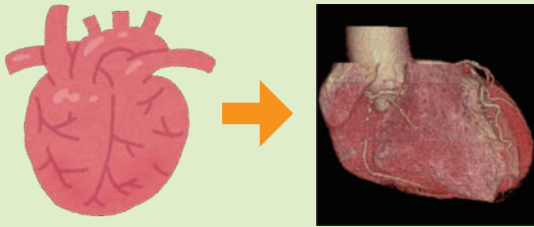
■検査科光学診療部週間予定

	月	火	水	木	金	土
午前	上部内視鏡検査 坂本輝彦准教授 佐藤浩一郎准教授 木原貴美子助教	上部内視鏡検査 木原貴美子助教	上部内視鏡検査 坂本輝彦准教授 佐藤浩一郎准教授	上部内視鏡検査 佐藤浩一郎准教授 木原貴美子助教	上部内視鏡検査 佐藤浩一郎准教授 木原貴美子助教	上部内視鏡検査 佐藤浩一郎准教授 (第3週除く)
	検査科診察 (加藤 教授)	内科診察(加藤)	検査科診察 (加藤 教授)	検査科診察 (佐藤 准教授)	検査科診察 (加藤 教授)	検査科診察 (佐藤 准教授)
午後	下部内視鏡検査 内科診察(佐藤)	下部内視鏡検査 大腸ESD	下部内視鏡検査 大腸ESD	下部内視鏡検査 胃・食道ESD	下部内視鏡検査 大腸ESD	

担当医師の詳細は、東医療センターホームページ⇒診療部門紹介⇒
 検査科・光学診療部⇒外来担当表をご参照ください。

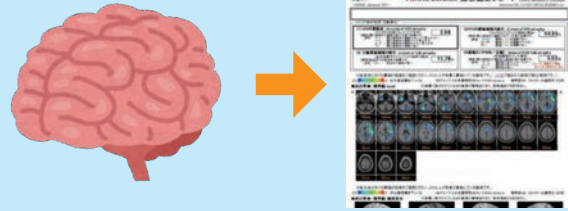
こんな時は是非、放射線科高度医療機器の共同利用を!!

動悸・胸痛?



心臓CT検査

物忘れが不安



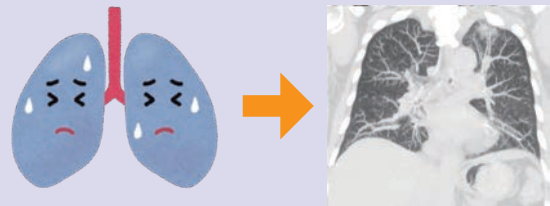
頭部MRI検査

骨折が心配



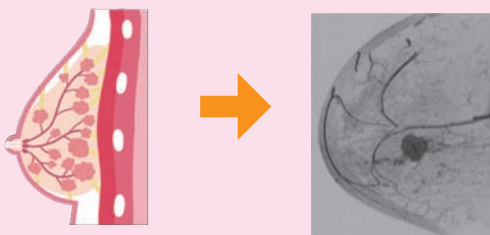
骨塩定量検査

咳が止まらない



胸部CT検査

胸にしこりが...



乳腺MRI検査

予約は**電話受付**
03-3810-1112
(内線3121)
地域連携室

詳しくは当院ホームページを!!

女子医東 高度医療機器共同利用 で検索

地域連携室よりお知らせ

初診患者診療予約のご案内

(1) 地域の医療機関様より『地域連携室』にて電話予約を承ります。

～予約から受診までの流れ～

- ①医療機関様より電話にてご予約を承ります。
 - ・一部診療科を除く⇒※耳鼻咽喉科・精神科・産婦人科
- ②予約日確定後「FAX診療申込書」を送信ください。
 - ・ホームページからもダウンロード可能です。
- ③地域連携室より折り返し「予約票」を送信いたします。
 - ・患者さんにお渡しください
- ④当日患者さんは、外来棟1階「初診受付」へお越しください。
 - ・予約票、保険証(医療証)、紹介状(CD-ROM)等をご提出ください。
 - ・診察申込書の記載は不要です。

※こちらの科への診察予約は直接、診療科でご予約を受けております。オペレーターに診療科をお申し付けください。

■地域連携室予約専用 電話・FAX番号
電話 03-3810-1112(自動音声) 内線3121
03-3810-1111(オペレーター) 地域連携室
FAX 03-3893-0772(直通)

■予約受付時間
平日(月～金) 9時～16時まで
土曜日(第3除く) 9時～11時まで
(祝日・年末年始12/30～1/4・創立記念日12/5除く)

(2) 紹介状をお持ちの患者さんより『予約センター』にて電話予約を承ります。

～予約から受診までの流れ～

- ①患者さんより電話にてご予約を承ります。
 - ・当院の診察券をお持ちの場合はお手元にご用意ください
 - ・一部診療科を除く⇒※耳鼻咽喉科・精神科・皮膚科
- ②直通電話へかけていただき、封筒(紹介状)の表書きに明記されている「受診される診療科」をお申し付けください。
- ③当日患者さんは、外来棟1階「初診受付」へお越しください。
 - ・予め電話で予約をしている旨をお申し出ください。
 - ・診察申込書をご記入ください。(予めホームページからのダウンロードも可能です。)
 - 保険証(医療証)、紹介状(CD-ROM)等と一緒にご提出ください。

■東医療センター予約専用電話番号
電話 03-6807-6360(直通)

■予約受付時間
平日(月～金) 9時～16時30分まで
土曜日(第3除く) 9時～12時30分まで
(祝日・年末年始12/30～1/4・創立記念日12/5除く)

「連携担当医」制度のお知らせ

平成26年3月より開始いたしました。

『連携担当医』制度とは、病診連携の強化を目的とし、医療機関の先生からのお電話を直接診療科の医師へお繋ぎするシステムとなっております。これによりスムーズなご対応ができるようになりました。

連絡方法：代表電話 03-3810-1111 オペレーターに「○○科の『連携担当医』へ」とお伝え下さい。

対応時間：平日(月～金)9時～16時30分 土曜日9時～12時

(第3土曜日、祝日、年末年始12/30～1/4、創立記念日12/5は従来通り当直対応)

対応診療：内科、小児科、精神科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科
呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科